

タウンミーティングにおける意見の概要

【参考資料2】

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	意見数	トピック	トピックの説明	意見概要の抜粋	
	安心して子どもを生み、育てられている	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	20	子育て支援施策	補助金・出産支援・子育て世代誘致の施策	子育て世代を支援する政策を実施してほしい 子育て世代の居住環境を改善し、保育・教育サービスを充実させるべきである 市は子育て教育に予算を拡充し、力を入れるべきである	
	働きながら子育てができています	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	27	幼保再編・こども園	こども園化・廃園・説明不足	幼保再編・こども園を適正に運用・再編を進めるべきだ 幼稚園・保育所の統合は保育サービスの持続可能性と地域の子育て環境の改善につながるべきだ 保護者説明会の説明が曖昧で、幼稚園のこれまでの取り組みを配慮しているとは感じられない	
			8	待機児童・保育利便性	入所・時間帯・抽選・送迎等の運用改善要望	待機児童を解消するため、保育利便性を高めるべきだ 子育てしやすい地域にする取り組みを積極的に進めるべきである	
	子どもの健康と安全が保たれている	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	28	公園設備と遊具	撤去・更新、ボール遊びスペースやネット整備	ボール遊びができる公園・広場が必要である 公園の遊具が減ってきている 事故を避けるために遊具を撤去すべきだ	
	子どもの個性と能力が豊かに育まれている	適正な就学・就園や経済的な支援により教育の機会を確保する 学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う 地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	17	学校統廃合と適正配置	小中の統廃合、特認校、適正規模維持の懸念	学区・学校配置の見直しが必要だ 統廃合するとコミュニティのまとまりが減る	
			15	学校施設の整備	プール・トイレ・冷水器・遊具等の修繕と整備	小学校へ冷水器を設置する 小学校を含む学校施設にマンホールトイレを設置すべきである	
			3	治安対策と青少年支援	少年犯罪対策、青少年指導員の支援	落書きを抑止する対策を強化すべきだ	
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する スポーツへの親しみ向上や参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める	8	公民館の統廃合・新設	地域間格差、避難拠点兼用や多機能化の要望	公民館の新設・確保が必要だ 公民館を集約するなど、行政は住民の不安や声をもっと聞くべきだ	
			3	図書館運営と移転	開館日・本館移転・刷新	図書館を刷新すべきである	
			7	スポーツ施設整備	室内プール・メインスタジアム・人工芝等の要望	スポーツ施設を増やして欲しい スポーツを軸とした日本一の町づくりを進めるべきだ	
	健康で自分らしく生きられるまち	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	15	経営赤字と財源	毎年の赤字額や地方交付税等の補填・財政影響についての懸念	自治体病院は不採算部門を守るべきだ 赤字解消のための改革は必要だ
				9	医療提供体制の確保	診療科や入院設備、小児・高度医療の供給と医師確保	市民病院は市民の命を守る医療提供体制を維持・強化すべきである 山手地区に民間病院を誘致すべきだ
				5	民営化・指定管理の影響	独法化や民間委託が医療レベルや不採算部門に与える影響	市民病院は独立行政法人にならないで存続すべきだ
				1	地域医療連携・医師不足対策	かかりつけ医の増加や医療機関誘致の方策	かかりつけ医をもっと増やすため、代替わりできない地域の町医者を守るべきだ
		介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心して暮らしている	医療保険制度を適切に運営する 高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	1	財政増収施策	ふるさと納税・税収拡大の方策6	国民健康保険料は高い
9				交流拠点・生活支援	公民館・老人クラブ・交流施設や米支援等	高齢者には米の支援を提供すべきである 高齢者が安心して暮らせる施設と交流の場所を整備するべきである	
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	32	通学路・歩道の安全対策	白線・カーブミラー・横断歩道・防犯灯の整備	通学路の歩道整備が早急に必要である 危険箇所には点滅サインなどの設置を求める 通学路の歩道の安全確保のため、カーブミラーと道路標識の整備点検を強化すべきだ 狭い道での事故を減らすため、見回りを含む監視・安全対策を強化するべきである	
			5	渋滞・路上駐車対策	駅周辺・学習塾周辺の路駐対策と警察連携	夜間の路上駐車は緊急車両の通行を妨げるため、路上駐車対策を強化すべきだ	
			11	空き家・老朽住宅対策	解体指導、特例制度、跡地活用の促進	空き家の増加は地域の安全性・景観・資産価値に影響を及ぼすため、空き家を解体し跡地を有効活用するべきだ 市営住宅跡地を有効活用すべきである	
	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	空家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める 防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	2	荒地・空き地対策	所有者指導、解体促進、景観対策	荒地・空き地対策の強化を市に求める	
			9	防犯設備と補助制度	防犯カメラ・灯の設置補助、補助手続の簡素化	防犯灯の維持費用の負担を軽減してほしい 防犯カメラを増設すべきだ	
			29	備蓄・避難所設備	倉庫・トイレ・発電・備蓄品の配置と管理	公民館を防災・福祉等を含む多機能拠点へと転換するべきだ 小・中学校の避難所には備蓄品が不足している 防災備品・備蓄品の整備が必要である 指定避難所に災害備蓄品の倉庫設備を設置するべきである	
	災害時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	12	地域人材育成と訓練	ボランティアリーダー・講習・町会連携の強化	ボランティアリーダーの選定と、避難時開設に向けた講習などの訓練を開催する必要がある 災害時の避難所運営について、各町会での話し合いを事前に行い、避難所運用の共通理解を持つべきである	
			7	避難所運営と鍵管理	休日夜間の鍵管理や避難所の区分け・開設手順	災害時の避難所の鍵管理を町会が担うべきだ 災害時には、町会に加入していない世帯も区別なく支援を受けられるべきだ	
			6	防災情報発信と受信環境	防災無線の改善、連絡網以外の情報手段整備	防災無線が聞こえないため、防災情報発信と受信環境の改善を検討すべきである	

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	意見数	トピック	トピックの説明	意見概要の抜粋
人と自然が共生した住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	安全安心な水を安定的に供給する	2	財政増収施策	ふるさと納税・税収拡大の方策4	水道代は岸和田市では高いと感じる
		まちの美化を進める	6	害獣・野良猫対策	捕獲・去勢助成やNPO連携の推進	野良猫の多さは地域が対処すべき課題である 害獣対策を強化すべきである
	人が緑と触れあっている	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	12	河川・緑地の清掃管理	池・川等の定期清掃と維持強化	河川周辺の緑地が木々で生い茂っているため、定期的な手入れと緑地管理を強化すべきだ 市は河川・緑地の桜の葉や毛虫の処理を基本的に担当すべきである
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられて	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	2	ごみ袋料金と収集	近隣市比較・料金見直しの要望	ごみ袋料金は安い水準を維持・改善すべきだ
			2	ゴミステーション対策	鳥獣対策用ボックスや戸別収集支援	ゴミステーションには鳥獣対策用のゴミボックスを導入すべきだ
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	11	駅前・商店街再生	岸和田駅周辺や商店街の街づくり・ホテル誘致	駅前・商店街を活性化すべきである ホテル誘致を進め、岸和田の玄関口として復活させてほしい
		新たに市内で創業する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	4	企業誘致と雇用創出	企業誘致、産業用地整備	地域経済を活性化する振興券の導入を検討すべきだ
		農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	3	商業施設整備	大型モール・小売誘致、地域の買い物環境改善	企業を誘致・雇用創出を促進し、企業が流出しない魅力的な市を作るべきだ
			7	農地の適正利用	適正な農地整備	大型ショッピングモールが不足している 地元の田んぼを減らさず、農地を適正に整備すべきである
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	13	観光コンテンツ活用	だんじり・岸和田城・返礼品や体験商品の活用	海外からのインバウンドを受け入れるための都市開発を進めるべきである 岸和田城を観光資源として生かし切れていない
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	33	情報発信戦略	SNS・HPの改善、広報の見える化と駅配布等	駅前で広報紙を配布すべきだ 自治会会員以外にも広報紙を配布すべきだという意見がある 問い合わせ先の周知が不十分で、メールが使えない人が問合せできない状況を招いている 市としての情報発信を強化すれば、自治体のイメージを払拭できる だんじり以外の施策や資源についての情報発信を強化すべきだ
			2	文化財・観光資源活用	岸和田城や歴史資源を使った誘客施策	岸和田城をふるさと納税返礼品の一部として活用すべきである
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	7	祭り・イベント再開	花火復活、泉州マラソン・市民フェスの復興	泉州地方にも港まつり花火を復活させるべきだ 地域のイベントを再開すべきである
			20	道路整備と延伸計画	泉州山手線等の延伸や進捗情報の透明化	道路延伸計画の進捗情報を透明に公開すべきである 泉州山手線・田治米畑町線の早期延伸を求める
		拠点とのアクセス性の向上を図る	19	公共交通・バス利便	本数・路線・割引制度・ローズバス等の充実	ローズバスを山手地区にも運行拡大すべきである バスの本数を増やすべきである 自治体ライドシェアの導入を検討すべきである
5			橋梁改修	橋の増設や老朽構造物の補修	老朽化した橋の改修が遅れているため、地域の安全と交通機能に影響が出ている	
適正な土地利用と景観形成を進める		2	運転免許返納支援	代替交通や特典、移動サービスの整備	運転免許返納を促進するための代替交通と特典の整備が不可欠だ	
		12	市街化調整区域の見直し	部分的市街化・建築要件緩和の要請	市街化調整区域を見直す時期である 市街化調整区域の建築要件を緩和すべきだ	
みんながつくる持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	29	町会加入促進と役割	加入メリット提示、補助制度や税制優遇の検討	町会加入者は減少している 町会に加入するメリットがないと感じている住民がいる 町会費を納めたら税控除してはどうか	
		11	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	役員負担軽減、報酬見直し、活動助成の工夫	町会の役員負担不足を解消する必要がある 人に対する報酬と活動費の使い道を明確に検討すべきだ	
		7	デジタル化と広報配布	広報紙削減、回覧の電子化、配布負担の軽減	町会の回覧板をLINEで回すべきだ 広報を簡素化して回覧にできるようにすることで負担を軽減すべきだ	
		5	財政増収施策	ふるさと納税・税収拡大の方策3	町費を市で回収してほしい 広報紙配付手数料の増額	
	持続可能で信頼される行政になっている	当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	17	市民参加と可視化	タウンミーティングの継続・進捗公開と意見反映	タウンミーティングの取り組みを市政に反映させるべきだ タウンミーティングを継続的に定期開催してほしい
		業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	16	職員の接遇・専門性	電話対応・接遇向上、人事・研修による改善	市民サービスの向上を最優先にすべきである 市民の要望を実現するには、職員が同じ方向へ向くことが肝心である 職員のハラスメント研修等も充実を 職員の教育を強化し、電話対応・接遇の質を向上させるべきだ
	持続可能で信頼される行政になっている	適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	7	庁舎建替えと跡地利用	新庁舎進捗の周知と跡地の観光・経済活用	新庁舎の建替えをスムーズに進めてほしい 庁舎跡地を活用して地域の経済を活性化すべきである
		行政手続きが便利になる環境づくりを進める	22	デジタル申請と窓口利便	オンライン申請・チャット対応・窓口時間の拡充	デジタル化により窓口問い合わせをチャット等で受け付けられるようにすれば、職員の手間を省ける 各種申請をオンラインで対応できるようにすべき 市役所の窓口開庁時間を延長すべきだ
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	7	財政増収施策	ふるさと納税・税収拡大の方策2	行政改革において、財源の再配分と投資の優先順位を明確にするべきだ
		市独自の歳入確保を進める	4	財政増収施策	ふるさと納税・税収拡大の方策1	税収を増やす工夫を検討すべきだ 財政を安定させるには、ふるさと納税をさらに活用・強化すべきだ